

社会資本総合整備計画 フォローアップ報告書
安心・安全で賑わいのある快適都市の充実

令和8年2月

愛知県東海市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	生活環境の向上による満足度	%	54.8	60.0	60.1	確定 見込み ●	○	あり なし	56.6	令和7年12月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	アクセシビリティの向上や電線類地中化などを目的とした道路整備が完了した箇所があるものの、現在も整備が完了していない事業が多くある。この結果から満足度は従前値から増加しているが、目標値には届いていないと考える。また、今後、土地区画整理事業や道路整備が完了することにより、住環境が整備され、満足度の向上が期待できる。
指標2	鉄道主要駅における乗降客数	人/日	49,518	49,518	46,569	確定 見込み ●	△	あり ● なし	52,780	令和7年9月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駅周辺の利便性が向上したことが鉄道の乗降客数増加へ寄与したと考えられる。また、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により行動制限の影響がほとんどなくなったことや、令和6年3月に加木屋中ノ池駅が開業したことにより、鉄道利用者が増加したと考えられる。(令和6年3月開業の加木屋中ノ池駅の乗降客数を除いた場合の令和6年度の乗降客数は51,853人)
指標3	車での移動に満足している人の割合	%	72.1	75.0	73.5	確定 見込み ●	×	あり ● なし	70.1	令和7年12月	×	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事後評価時点では完了していなかった(都)養父森岡線が令和7年3月に開通したことなどの道路事業の進捗により、市内の道路ネットワークが強化されたものの、市全域での抜本的な渋滞解消には至らないため、目標値には届いていないと考えられる。今後、さらなる道路整備が完了することにより、車での移動環境が改善され、満足度の向上が期待される。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	日常生活の移動がしやすいと思う人の割合	%	57.3	/	63.1	確定 見込み ●	/	あり ● なし	62.7	令和7年12月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	東海太田川駅周辺土地区画整理事業や道路整備事業の完了により公共交通機関や自動車での移動の利便性が向上するとともに、自転車・徒歩での移動のしやすさも向上したと考えられる。その結果、日常生活の移動がしやすいと思う人の割合が、評価値からわずかに下回っているものの、従前値からは増加した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<p>・成果を持続させるために行う方策</p>	<p>都市計画道路、都市公園等の未整備箇所の整備を進め、都市基盤の充実を図る。</p>	<p>東海太田川駅周辺土地区画整理事業により道路、公園等の一体的な整備を実施し、面的な都市基盤の充実を図った。</p>	<p>今後も継続して都市基盤の充実を図るため、市道太田川駅前通り線、市道元浜線、御洲浜公園等の整備を実施していく必要がある。</p>
	<p>太田川駅・尾張横須賀駅・大田川一帯の景観形成により、歩行空間確保によるネットワークの強化を図るとともに、賑わい創出の効果を促進させる。</p>	<p>東海太田川駅周辺土地区画整理事業により太田川駅・大田川一帯の景観形成及び歩行空間を確保し、ネットワークの強化を図った。</p>	<p>引き続き駅周辺の整備を進めネットワークの強化を図り、賑わい創出の効果を促進させる必要がある。</p>
	<p>様々な世代の住民が利用可能な生活サービス施設の充実を図ることで誰もが住みやすい市街地の形成を図る。</p>	<p>東海太田川駅西土地区画整理事業により都市基盤整備を進め、生活サービス施設の誘導を図った。また、太田川駅東地区では優良建築物等整備事業により医療施設の建設が進んでいる。</p>	<p>今後も生活サービス施設の充実が望まれるため、継続して誰もが住みやすい市街地の形成を図っていく必要がある。</p>
<p>改善策</p> <p>・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策</p>	<p>太田川駅周辺の未整備箇所を整備することで拠点性の向上を図るとともに、尾張横須賀駅の拠点性も高め、相乗効果を期待する。</p>	<p>太田川駅周辺では優良建築物等整備事業や土地区画整理事業、尾張横須賀駅周辺では、道路整備事業(都)横須賀駅西通線、東海市創造の社交流館の整備により、拠点性が高まってきている。</p>	<p>各駅周辺の事業を引き続き進め、複数事業の相乗効果による拠点性を高める必要がある。</p>
	<p>大田川沿いのエコプロムナードの整備に加え、ポケットパークの整備を行い、各駅の地区拠点を中心に歩行者の利便性・まちの回遊性の向上を図る。</p>	<p>東海太田川駅周辺土地区画整理事業により歩道、公園、駅前広場等を整備し、回遊性の向上を図った。また、シェルターやポケットパークの整備に向けた設計を実施した。</p>	<p>今後、シェルターやポケットパークの整備等を行い、継続して各駅の地区拠点を中心とした歩行者の利便性・まちの回遊性の向上を図る必要がある。</p>
	<p>計画で定められたスケジュールに対して早期整備を心掛ける。</p>	<p>東海太田川駅周辺土地区画整理事業は竣工した。太田川駅東地区では、優良建築物等整備事業による医療施設の建設が進んでいる。</p>	<p>継続して計画で定められたスケジュールに対して早期整備を心掛ける必要がある。</p>

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
市内の道路ネットワークの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・市道下畑9号線始め3路線 ・市道成宝新田4号線始め4路線 	令和8年度～	国道155号線の4車線化整備に合わせて、裏道対策を実施していく必要がある